

令和6年度岐阜県保育研究協議会事業計画

【基本方針】

近年は、「こども家庭庁」発足、「こども基本法」施行など、「こどもまんなか社会」実現に向けた取り組みが進められ、これまで以上に保育者の役割に対する期待が高まっています。

一方で、世間の耳目を集めている“適切でない保育”の問題について、保育者自身が改めて子ども主体、子どもの権利擁護という保育の基本を再確認したうえで、日々の保育を振り返ること、さらには保育士不足等、職場環境の課題改善に向けた取り組みが重要となります。

本会としましては、子どもの最善の利益を守るために最大限の努力を重ね、より一層地域社会に信頼される保育所を目指すとともに、保育人材の確保や保育の質の向上に向けて取り組み、行政機関、専門機関、地域住民との連携も強化して、具体的な施策を図ることを基本方針とします。

【重点目標】

- 1 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく質の高い保育の提供
- 2 保育士・保育教諭等の資質向上、専門性の向上
- 3 多様な機関・団体等との連携・協力による保育機能の強化
- 4 協議会事業の充実と組織強化

【事業計画】

1 会務の運営

事業の円滑な実施に向けて、次の会議を開催する。

- (1) 協議員総会 <年2回>
- (2) 常任協議員会 <年3回>
- (3) 正副会長会議 <年8回>
- (4) 監事会 <年1回>

2 専門委員会の開催

本会の目的を達成するため、次の専門委員会を開催し、必要に応じて学識経験者を置く。

- (1) 広報委員会
本会の機関紙「ぎふ保育」の企画・編集を行うための委員会を開催する。
- (2) 保育内容委員会
保育内容・子育て支援に関する実践上の問題点や課題について重点テーマを設定して研究する。
- (3) 研修委員会
県保協で行う研修の企画、運営、講師選定等について研究する。

3 大会の開催

第61回岐阜県保育研究大会（オンライン大会 in 岐阜市）

配信期間：令和6年7月1日（月）～31日（水）

実施方法：オンデマンド方式

講師：広島大学大学院 人間社会科学研究科 教授 七木田 敦 氏

参加予定：約320名（220保育所・園）

4 研修会の開催

(1) 協議員研修会

期 日：令和7年3月21日（金）（予定）

実施方法：会場参集（会場：岐阜県福祉・農業会館）（予定）

講 師：未定

参加予定：約30名

(2) 保育施設長研修会<受託研修事業>

期 日：令和6年10月3日(木)

実施方法：オンライン

講 師：大阪総合保育大学 学長

大阪総合保育大学大学院 児童保育研究科 教授 大方 美香 氏

社会福祉法人真生会 理事長

白百合心理・社会福祉研究所 所長 青木 紀久代 氏

参加予定：約300名

(3) 岐阜県保育士研究発表会

期 日：令和7年1月18日(土)

実施方法：オンライン(予定)

発表者：岐阜ブロック(岐阜市)

参加予定：約400名

(4) 保育所保育指針に関する研修会 (受託研修事業・5圏域で開催)

区分	講 師	期 日	実施方法
岐阜	椋山女学園大学 教育学部 准教授 松村 齋 氏	令和6年11月9日(土)	オンライン
西濃	遊びダンス作家 福田 りゅうそう 氏	令和6年8月31日(土)	会場
中濃	山梨大学 大学院総合研究部 名誉教授 加藤 繁美 氏	令和6年11月16日(土)	オンライン
東濃	東京大学 名誉教授 一般社団法人 家族・保育デザイン研究所 代表理事 汐見 稔幸 氏	令和6年11月2日(土)	会場
飛騨	玉川大学 教育学部 教授 大豆生田 啓友 氏	令和6年6月15日(土)	オンライン

5 受託研修事業の実施

岐阜県から受託を受けて、保育者の資質向上を図るため階層別・課題別等の研修を行う。

(1) 階層別研修

①初任保育士研修(対象 A:1年未満 B:2~3年)

新②中堅保育士研修(対象 4年以上)

③主任保育士研修

④保育施設長研修会(再掲)

(2) 課題別研修

①ブロック別研修(県内5会場)

②認可外・地域型保育事業従事者研修

③メンタルヘルス・人権研修(実務者)

④保育現場の環境改善・人材育成研修(2回)

現場における業務の効率化、省力化を促し、保育士の業務負担を軽減するとともに、職場環境の改善による保育士の離職防止及び職場定着を図る研修を開催。

⑤保育現場のリスクマネジメント

(3) テーマ別研修(7つのテーマ別で開催)

現場が課題としているテーマを主体とした研修を開催。

- ①障がい児・気になる子
- ②保護者対応
- ③眠育、子どもの発達とのかかわり
- ④乳幼児の応答的なかわり
- ⑤適切な保育について
- ⑥運動あそび
- ⑦幼保小連携

6 保育オンライン研修の実施

本会会員と非会員の差別化を図るため、会員限定の「オンライン研修」を実施する。

- (1) 食育推進研修会（調理員・栄養士等対象）
- (2) 事故防止・災害対策に関する研修（施設長・事務長等対象）
- (3) 法律知識・労務管理に関する研修（事務長・施設長等対象）
- (4) 保健衛生・安全対策に関する研修（看護師・保健担当等対象）
- (5) 人事労務・人材育成に関する研修（事務長・主任等対象）

7 公立保育所等が実施する園内研修への講師派遣助成事業

本会会員公立保育所等が園内研修を計画・実施するにあたり、指導者に支払う講師料を助成することで、公立保育所における園内研修の普及促進を図る。

助成対象：本会会員公立保育所・こども園等

助成額：40万円 1施設助成額上限 8万円（5施設程度想定）

8 保育新入職員合同交流事業

新たに保育業務に従事する保育士・保育教諭を激励するとともに、所属施設を超えた同期と一緒に現在の自分を振り返る時間を共有することで、仕事に向かう意欲を高め、保育現場への定着及び離職防止を図る。

期日：令和6年11月（予定）

場所：（未定）

講師：（未定）

参加予定：約50名

9 保育施設長セミナー

保育施設長や主任保育士を対象としたセミナーを開催し、“適切な保育”について考える機会とする。

期日：令和6年9月19日（木）、20日（金）

場所：県内2か所（美濃加茂市、岐阜市）

講師：岐阜聖徳学園大学 短期大学部 教授 徳広 圭子 氏

参加予定：各70名程度

10 調査・広報活動の推進

- (1) 機関紙「ぎふ保育」の発行（発行：年3回）
- (2) ホームページ等による研修等情報の発信
- (3) マスコットキャラクター「らいみい」等の活用による本会活動の理解促進

11 ブロック活動の実施

5つの圏域ごとに次の事業を行う。

- (1) 連絡会議
- (2) 保育者研修会

12 保育制度・予算対策運動の実施

今日の多様な保育ニーズや諸課題に対応できる保育制度の構築及び予算確保に向けた運動を実施する

- (1) 今後の保育制度のあり方

- (2) 予算・保育対策活動協力金拠出運動への協力
- (3) 総会並びに岐阜県子どもの健康を考えるつどい

13 関係機関・団体への協力

県小児保健協会が実施する事業に協力することにより、子どもの健やかな育ちと保育者の資質向上を図る。

14 全国および東海北陸における大会・研修会への参加

- (1) 第65回東海北陸保育研究大会「福井大会」
令和6年7月18日（木）～19日（金） 福井県福井市 アオッサ・ハピリン
- (2) 東海・北陸ブロック次世代保育リーダー養成セミナー・保育士会セミナー
令和6年11月（予定） 福井県福井市
- (3) 全国保育士会食育推進研修会
令和6年7月25日（木）、26日（金） 千葉県千葉市 ホテルグリーンタワー幕張
- (4) 公立保育所等トップセミナー
令和6年8月（予定） オンライン（予定）
- (5) 第67回全国保育研究大会「奈良大会」
令和6年10月17日（木）、18日（金） 奈良県奈良市 なら100年会館
- (6) 第57回全国保育士研究大会「高知大会」
令和6年11月21日（木）、22日（金） 高知県高知市 高知県立県民文化ホール
- (7) 第51回全国保育士研修会
令和7年2月（予定） 東京近郊（予定）